

肥満傾向児の出典の見直しに伴う各種訂正について

	【修正前】	【修正後】																												
P5	<p>(1) 目標達成状況</p> <p>【全体：82項目】</p> <p>全体の結果をみると、「A 目標に達した」または「B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある」項目は45項目(54.9%)となっている一方で、「D 悪化している」項目が31項目(37.8%)ありました。</p> <p>【数値目標の達成状況(82項目)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価分類</th> <th>項目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 目標値に達した</td> <td>20 (24.4%)</td> </tr> <tr> <td>B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある</td> <td>25 (30.5%)</td> </tr> <tr> <td>C 変わらない</td> <td>4 (4.9%)</td> </tr> <tr> <td>D 悪化している</td> <td>31 (37.8%)</td> </tr> <tr> <td>E 評価困難</td> <td>2 (2.4%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82 (100.0%)</td> </tr> </tbody> </table>	評価分類	項目数	A 目標値に達した	20 (24.4%)	B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある	25 (30.5%)	C 変わらない	4 (4.9%)	D 悪化している	31 (37.8%)	E 評価困難	2 (2.4%)	合計	82 (100.0%)	<p>(1) 目標達成状況</p> <p>【全体：82項目】</p> <p>全体の結果をみると、「A 目標値に達した」または「B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある」項目は<u>43項目(52.4%)</u>となっている一方で、「D 悪化している」項目が<u>33項目(40.2%)</u>ありました。</p> <p>【数値目標の達成状況(82項目)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価分類</th> <th>項目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 目標値に達した</td> <td><u>18 (22.0%)</u></td> </tr> <tr> <td>B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある</td> <td>25 (30.5%)</td> </tr> <tr> <td>C 変わらない</td> <td>4 (4.9%)</td> </tr> <tr> <td>D 悪化している</td> <td><u>33 (40.2%)</u></td> </tr> <tr> <td>E 評価困難</td> <td>2 (2.4%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82 (100.0%)</td> </tr> </tbody> </table>	評価分類	項目数	A 目標値に達した	<u>18 (22.0%)</u>	B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある	25 (30.5%)	C 変わらない	4 (4.9%)	D 悪化している	<u>33 (40.2%)</u>	E 評価困難	2 (2.4%)	合計	82 (100.0%)
評価分類	項目数																													
A 目標値に達した	20 (24.4%)																													
B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある	25 (30.5%)																													
C 変わらない	4 (4.9%)																													
D 悪化している	31 (37.8%)																													
E 評価困難	2 (2.4%)																													
合計	82 (100.0%)																													
評価分類	項目数																													
A 目標値に達した	<u>18 (22.0%)</u>																													
B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある	25 (30.5%)																													
C 変わらない	4 (4.9%)																													
D 悪化している	<u>33 (40.2%)</u>																													
E 評価困難	2 (2.4%)																													
合計	82 (100.0%)																													

P6	<p>【ライフステージ別の目標達成状況(基本方針1)：72項目】</p> <p>「乳幼児期・学童期・思春期」の目標達成率が、45.5% (5項目/11項目) と最も高い一方で、取組の重点世代としていた「壮年期」の目標達成率は、3.7% (1項目/27項目) と最も低く、70.4% (19項目) が悪化しています。また、「高齢期」の目標達成率も14.3% (1項目/7項目) と低く、57.1% (4項目) が悪化しています。</p> <p>【方向性】 【目標項目数】 評価(目標達成状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ライフステージ</th> <th>目標項目数</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライフステージ共通</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>乳幼児期・学童期・思春期</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>青年期・妊産婦期</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>壮年期</td> <td>27</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>高齢期</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	ライフステージ	目標項目数	A	B	C	D	E	ライフステージ共通	16	6	8	2	0	0	乳幼児期・学童期・思春期	11	5	2	1	3	0	青年期・妊産婦期	11	4	5	2	0	0	壮年期	27	1	6	1	19	0	高齢期	7	1	2	0	4	0	<p>【ライフステージ別の目標達成状況(基本方針1)：72項目】</p> <p><u>各期において目標達成率は40%未満となり、特に「壮年期」の目標達成率は、3.7% (1項目/27項目) と最も低く、70.4% (19項目) が悪化しています。また、「高齢期」の目標達成率も14.3% (1項目/7項目) と低く、57.1% (4項目) が悪化しています。</u></p> <p>【方向性】 【目標項目数】 評価(目標達成状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ライフステージ</th> <th>目標項目数</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライフステージ共通</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>乳幼児期・学童期・思春期</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>青年期・妊産婦期</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>壮年期</td> <td>27</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>高齢期</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	ライフステージ	目標項目数	A	B	C	D	E	ライフステージ共通	16	6	8	2	0	0	乳幼児期・学童期・思春期	11	3	2	1	5	0	青年期・妊産婦期	11	4	5	2	0	0	壮年期	27	1	6	1	19	0	高齢期	7	1	2	0	4	0
ライフステージ	目標項目数	A	B	C	D	E																																																																																
ライフステージ共通	16	6	8	2	0	0																																																																																
乳幼児期・学童期・思春期	11	5	2	1	3	0																																																																																
青年期・妊産婦期	11	4	5	2	0	0																																																																																
壮年期	27	1	6	1	19	0																																																																																
高齢期	7	1	2	0	4	0																																																																																
ライフステージ	目標項目数	A	B	C	D	E																																																																																
ライフステージ共通	16	6	8	2	0	0																																																																																
乳幼児期・学童期・思春期	11	3	2	1	5	0																																																																																
青年期・妊産婦期	11	4	5	2	0	0																																																																																
壮年期	27	1	6	1	19	0																																																																																
高齢期	7	1	2	0	4	0																																																																																

	【修正前】	【修正後】
P21	<p>— 現状と課題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学5年生の肥満傾向児の割合は男女とも減少傾向です。(男子5.4% 女子4.0% : R4) <p>【図 1-2-1】肥満傾向児童割合</p> <p>出典：平成 23 年度は松江市学校保健統計、平成 28・令和 4 年度は学校教育課新体力テスト</p>	<p>— 現状と課題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児童（小5）の割合は男女とも増加傾向です。(男子 5.4% 女子 4.0% : R4) <p>【図 1-2-1】肥満傾向児童割合</p> <p>出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）※松江市データ</p>

参考-2 数値目標の達成状況
(第2次健康まつえ 21 基本計画 82 項目)

【乳幼児期(0～5歳)・学童期(6～12歳)・思春期(13～19歳)：11項目】

修正前	No	目標	指標	単位	策定時現状値	最終実績値	目標値	評価			
	35	肥満傾向にある児童の割合を減らす	小学校5年の中等度、高度肥満傾向児の割合	男	%	9.18	H23	5.4	R4	減少傾向	A
36	女			%	7.35	H23	4.0	R4	減少傾向	A	
修正後	35	肥満傾向にある児童の割合を減らす	小学校5年の中等度、高度肥満傾向児の割合	男	%	<u>3.6</u>	<u>H25</u>	5.4	R4	減少傾向	<u>D</u>
	36			女	%	<u>1.8</u>	<u>H25</u>	4.0	R4	減少傾向	<u>D</u>